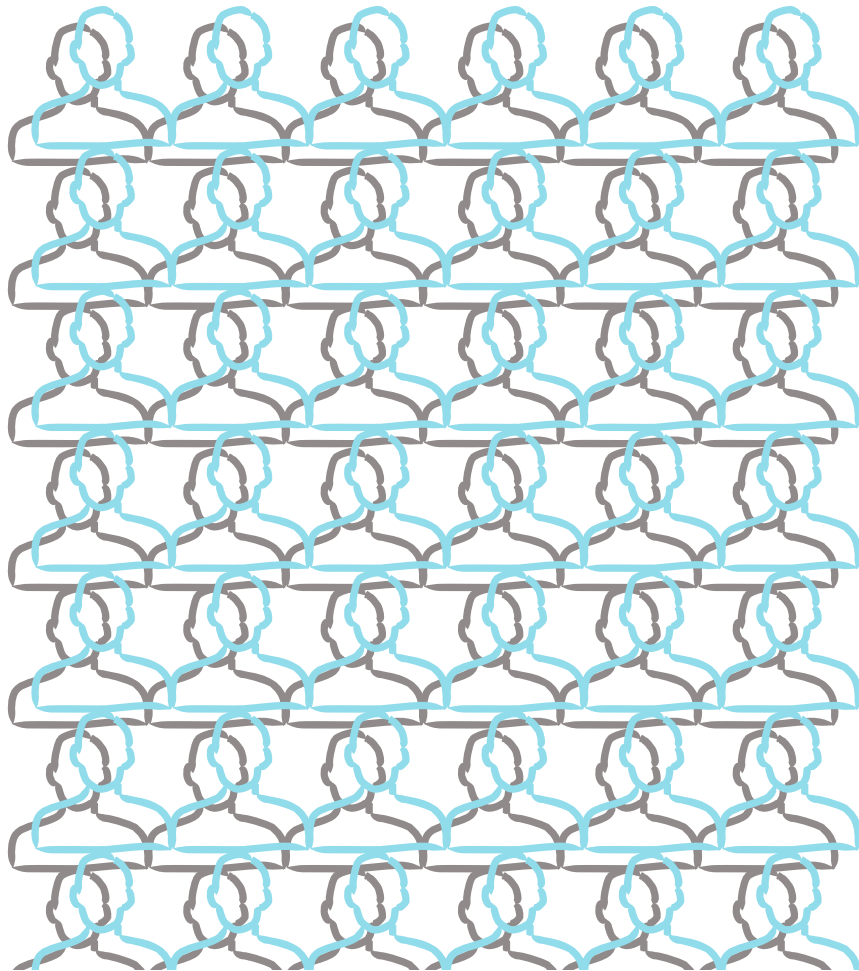


青森県の 裁判員裁判

-これまでの5年間を振り返る-



2014年
11月1日(土)
14:00-17:30

弘前大学人文学部棟 4階多目的ホール
(文京キャンパス内)

※入場無料、事前申込不要 学内外問わず参加歓迎

市民が裁判官と刑事裁判に参加する裁判員制度が実施されてから5年が過ぎました。

この間、青森県内では67例の裁判員裁判が行われていますが、いまだ十分に浸透しているとは言えません。

このシンポジウムでは、青森県で行われた裁判員裁判を、実務法律家、裁判員経験者、報道関係者、研究者、学生の視点から振り返り、その成果や課題を一緒に考えます。

裁判員裁判を担当した実務法律家や市民も登壇しますので、お気軽にご参加ください。

第1部 研究・教育の視点から

飯 考行 (専修大学) 「地域資源としての裁判員裁判」
平野 潔 (弘前大学) 「裁判員の“負担”の意味」
人文学部学生による裁判員経験者インタビュー成果報告

第2部 実務法律家の視点から

青森県の裁判官、検察官、弁護士

第3部 パネルディスカッション

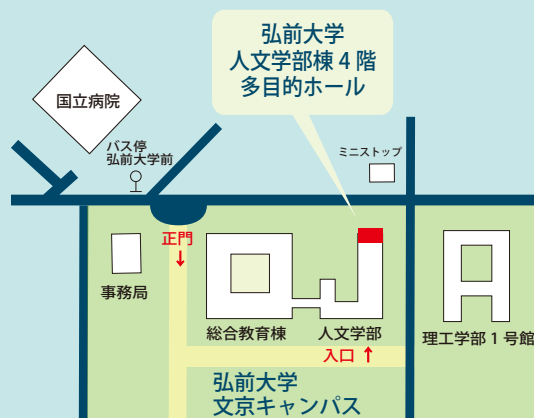
コーディネーター：飯 考行 (専修大学)
裁判員経験者 (予定)、法曹関係者、報道関係者、学生など

<問い合わせ>

平野 潔 (ひらの・きよし、弘前大学人文学部准教授)
〒036-8560 弘前市文京町1 弘前大学人文学部
Tel&Fax : 0172-39-3199 E-mail : k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

※裁判員の経験をお話いただける裁判員経験者を募集中です。
上記問い合わせ先までご連絡いただけますと助かります。

*本シンポジウムは、地域未来創生プロジェクト2014「青森県における法的諸課題の多角的検討」の一環です。



※前週の10月26日(日)13:00より、同会場にて、学生サークル teens & law による模擬裁判員裁判が行われます。
お時間ございましたらお運び下さい。



主催：弘前大学人文学部・教育学部